

# 命と暮らしを 災害から守りたい

開催日時 2021年12月11日(土) 14:00~16:00(開場13:30)

場所 梅田スカイビルタワーウエスト2 2階 E会議室



講師：名古屋大学  
減災連携研究センター  
福和 伸夫 教授

1957年生まれ、名古屋大学教授・減災連携研究センター長(～2021.03)、あいち・なごや強靱化共創センター長、工学博士、日本地震学会会長(2017～2019)など。81年3月名古屋大学大学院工学研究科修了し、清水建設入社。91年名古屋大学に転じ、2012年1月より現職。専門は、建築耐震工学、地震工学、地域防災。早期の耐震化を強く訴え、防災の国民運動を率先。2019年日本建築学会著作賞『次の震災について本当のことを話してみよう』(時事通信社, 2017)。

※参考図書：『必ずくる震災で日本を終わらせないために』(時事通信社, 2019)

阪神・淡路大震災から27年目を前に、福和伸夫先生をお招きし、講演会を開きます。

福和先生は、「自然災害は防ぐことはできないが、その被害を減らすことはできる。」という信念のもと、研究のかたわら「紙ぶるる君」「地盤ぶるる」など、地盤特性や振動の姿を見える化した耐震教材を開発し、小・中・高等学校などで「減災講演」を続けておられます。

津波が来たとき家が壊れていたら逃げることもできない。ではどうする。名古屋市が研究開発した「部屋の外から安価に施工できる耐震改修法」は、高知県の『限度内なら、本人負担ゼロ』という耐震化政策を生み出し、高知県は他県の10倍というスピードで戸建住宅の耐震化を進めています。

福和先生は、専門家の思いと社会の本気度が一致した時、必ず来る南海トラフ地震から命と暮らしを守ることができるかと語られます。

建築の専門家、建築系の学生、地震について学びたい方の参加をお待ちしております。

## お申し込み方法

右のQRコードを読み取るか、西山文庫のHP(<http://www.n-bunko.org/news.html>)よりGoogleフォームにご登録ください。



西山文庫秋のフォーラムの登録  
Googleフォーム

## おことわりとお願い

・コロナ感染対策として、会場定員の半数である50名を定員とさせていただきます。受付先着順のため、定員超過の場合「申し込み不可」のご返事を差し上げますので、メールアドレスのご登録をお願いいたします。その際はあしからずご了解のほど宜しくお願い申し上げます。

・会場ではマスクの着用をお願いします。

・コロナ感染状況によって、講演会を中止あるいは延期せざるを得ない事態も予想されます。直前にホームページでご確認ください。



▲福和伸夫教授室のある名古屋大学「減災館」は、実際に揺らすことのできる世界に類をみない研究・展示施設です。

西山卯三記念すまい・まちづくり文庫

開館日：毎週 木・金・土曜日 13:00～17:00 (祝日は休館)

〒619-0224 京都府木津川市兜台6-6-4

積水ハウス総合住宅研究所内

電話・FAX: 0774-73-5701

E-mail: [npo@n-bunko.org](mailto:npo@n-bunko.org)